



発行
日本共産党
春日部市委員会
春日部市中央
7-10-9
電話 736-9933
FAX 736-9991

春日部駅付近の鉄道高架とまちづくり

秋山県議と市議団が担当部レクチャー

10日、秋山文和県議と市議団6名は、春日部駅の鉄道高架とそれに伴うまちづくりに関して、進捗状況と課題などについて、鉄道高架整備部よりレクチャーを受けました。

まちづくりに 市民の声を

今年3月8日に都市計画決定された春日部駅付近連続立体交差事業及び関連する都市計画道路などの都市計画について、埼玉県・東武鉄道とともに検討を重ねています。一方、2013年6月に策

定された「春日部市中心市街地まちづくり計画」については、東武鉄道の輸送改善計画の提案により、駅の幅が大きく変更となったことなどから、更新の必要性が生じました。

そこで、より一体的なまちづくりを市民とともに進めるため、学識経験者や公募委員等を加えた審議会（下表参照）の設置にいたしました。

検討範囲は、高架化区間周辺の約150ヘクタール。内谷陸橋手前から、アーバンパークラインは八木崎駅手前、スカイツリーラインは春日部中学校付近まで含まれます。

今年度、県は国における事業認可の取得（国の助成が受けられる）に向けた作業を進めます。

今年度、 用地測量等予定

市は鉄道高架箇所対象エリアの用地測量などをおこなう予定です。この測量により、用地買収の対象となる地権者数なども明らかになります。

工事着工から最短で完成まで12年と説明していますが用

東西通行の保障と 利便性確保を

地買収交渉が難航すれば、工期が延びる可能性があります。市民の要望や意見については、意見交換会や出前講座を継続するとともに、任意の勉強会なども立ち上げ、今後のまちづくりに市民の声をいかしたい、としています。

富士見町地下道へのエレベーター設置は、鉄道高架事業の急激な進展により見直しとなります。現在行われている駅構内通行補助や、東口西口循環バス（実証実験）は、その効果を検証するとともに、工事着手から完成までの東西交通について、市民要望を踏まえながら最善の方法を考えた、とのこと。

日本共産党は、東西交通確保に早期の地下自由通路の設置を提案しています。

●組織

- ①学識経験者 ②関係行政機関の職員 ③市内各種団体を代表する者 ④公共交通に関する事業者 ⑤公募に応じた市民

●検討項目

- ①春日部駅周辺地区が目指すべき将来像 ②市民ニーズを踏まえた機能や活動の検討 ③高架下利用に関する検討 ④駅前広場の検討

職員への未払い残業手当は 早急に全額支給を！

昨年11月、市職員労働組合に生活支援課の職員から「私の職場では、残業時間請求の調整が行われており、実際に働いた時間よりも大幅に削減した時間を請求するように代々引き継がれてきた。そのため、職員によって削減される残業手当は違うが、多い人は4割カットになることもある。その金額は自分自身のカット分でも年間30万円以上にもなる」という相談がありました。

「予算内支給」に 調整する違法行為

組合が、事実関係を確認すると、平成23年度から残業手当を予算内に抑える調

整を行った資料(電磁的記録や紙媒体・二重帳簿)があり、職員の相談内容は事実そのものでした。

組合は、1月25日に「超過勤務手当(残業手当)の不払い分について直ちに不払い額を確定し支給すること」など5項目の要求書を提出し、早期解決に向けて交渉を重ねてきました。

組合の早期解決要 求に「未だ調査中」

この問題は、3月議会の一般質問で、松本ひろかず議員が取り上げ、「人手不足によつて残業が常態化している部課がある。これは法令違反である。未払いの

残業手当は早く支払うこと、今回の不正の責任を明確にすること、必要な職員を増員すること。二度とこのような事が起こらないよう改善すること」を求めました。

副市長は「徹底的な調査をして報告したい」と答弁し、市長は「超過勤務手当については、今後の調査を踏まえ適正な対応をしていく。適正な勤務管理と時間外勤務の削減をはかっていく。」と答えました。

しかし、未だに「調査中を理由に」支払い方針・スケジュールを示していません。組合は、「こうした対応に不信感・違和感を覚えます。あらためて、当該職員に速やかに支払うよう強く求めます。」と主張しています。

無賃労働(サービス残業)をなくそう！

組合が、昨年から今年にかけて実施した「職場アンケート」(70名回答)には「生活支援課以外にも残業手当不払いや代休がとれないなどの声」が寄せられています。

組合は、「勤務実績時間をカットされて悔しい思いをした方、気まずい思いで調整行為に関係した方、知りつつも何も出来なかったと無力を悔やんでいる方、実態把握には多くの皆さんの証言が必要です。実態を把握し、反省し、みなさんと一緒に職場風土を時代にふさわしいものにしていきたい」と呼びかけています。法令では「超過勤務は、公務のため臨時又は緊急の必要があるとき命ずることができると定めています。必要な職員を増やして「残業の常態化」をなくし、働きやすい職場にしましょう。

市立医療センター TEL 735-1261(夜間毎日、土・日・祝日)内・外科系 小児救急電話相談 #7119
5/19(日) (内科系)渡辺内科:米島 TEL746-3219 (内) (小児科系)春日部在宅診療所ウエルネス:内牧
エミナース春日部1階TEL792-0772 (内、小、緩和) (外科系)岩松医院:栄町 TEL761-0077 (外、胃腸、麻酔)
5/26(日) (内科系)春日部厚生病院:緑町TEL736-1155 (内科) (小児科系)おかだこどもの森クリニック:藤塚
TEL745-7722 (小、アレルギー科) (外科系)みやざわ耳鼻咽喉科:中央 TEL745-8733 (耳鼻、咽喉アレルギー科)